

小児医療センターのご紹介

当院小児医療センターは、2013年に小児がん拠点病院に認定されました

当院では、小児がん患者に対して多診療科・多職種での治療を行っています。子どもが化学療法を受ける場合、副作用だけでなく、入院中はボディイメージの変化、学校生活や家庭生活との離断、また退院後も復学、成長障害、晩期合併症、二次がん、進学・就職・結婚といったライフイベントでの問題などが多くあげられます。これらの問題に加えて、子どもは成長発達しているので、発達状況に適した医療・看護を提供しています。

当院小児医療センターでの取り組みの一部をご紹介します

子どもの理解に合わせた説明

子どもの年齢に合わせて、病気・入院・手術・検査・その他の処置について説明を行い、不安や恐怖を最小限にし、心の準備を行っています。

<説明用グッズの例>



説明用人形 お医者さんセット CT 模型

思春期若年成人(AYA 世代)への支援

・AYA 世代の患者交流会を開催しています。
・義務教育ではない高校生の学習を支援しています。
現在は京都府の訪問授業・医大生ボランティア・院内学級教員により学習支援を実施しています。



映画鑑賞会 運動会 学習支援部屋

小児緩和ケアチーム多職種カンファレンス

月2回、緩和ケアが必要な小児科患者を対象に開催しています。多面的なサポートのため、医療従事者だけでなく、保育士・院内学級教員なども参加しています。

長期フォローアップ外来

治療終了後の晩期合併症や再発の恐れを抱えながら生活している子どもたちへの支援、そのような子どもたちが成長発達を遂げるための長期的なフォローを、定期的に行っています。今後、さらに体制を充実していくことができるよう、検討中です。

季節に合わせたイベント

保育士・ボランティアの方々の協力の元、様々なイベントを行っています。



クリニックラウン 書道ワークショップ 夏祭り



お誕生日会 卒園式 デザートバイキング

小児医療センターマスコットキャラクター



みんなのこと、応援しています!

フレフレッシュちゃん

文責：太田真由美(小児看護専門看護師)

代表連絡先：がん相談支援窓口 075-251-5283